

施工例

■施工状況



写真ではパイプの頭部にキャップを取り付けてありますが、実際は地中にあるためパイプの頭部が見えることはありません。

■施工前のパイプの位置決め



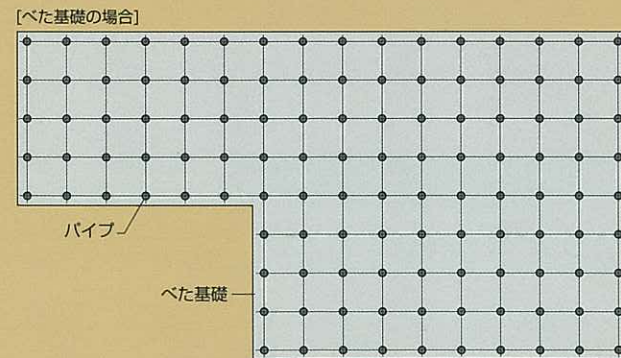
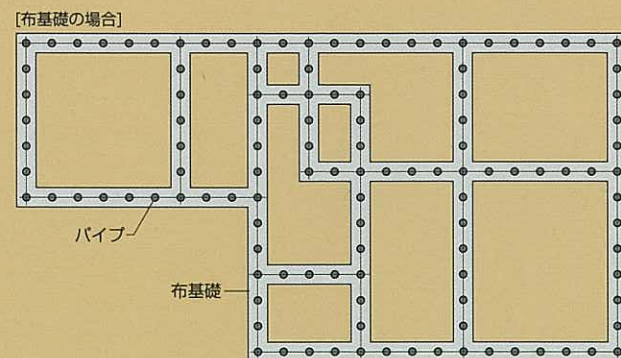
■パイプ長さの検尺



■施工管理装置の例



■パイプ配置のイメージ図



品質管理

RES-P工法は旧38条大臣認定・財団法人日本建築センターの評定 [BCJ-F872]・財団法人日本建築総合試験所の技術性能証明評価 [性能評価第04-02号] を取得し、「戸建住宅の基礎地盤補強研究会」により設計・施工・監理が統一して運用されています。

「戸建住宅の基礎地盤補強研究会」による指定施工会社

土筆工業 株式会社	株式会社 サンキ	炭平コーポレーション 株式会社	カナイ技研サービス 株式会社	成和機工 株式会社
株式会社 恩田組	富士重機工事 株式会社	報国エンジニアリング 株式会社	地研テクノ 株式会社	株式会社 サムシング
アートクレーン 株式会社	株式会社 テラ	アキュテック 株式会社	応用開発 株式会社	有限会社 横浜ソイル
株式会社 システムプランニング	兼松日産農林 株式会社	株式会社 東亜機械工事	ミサワホームイング新潟 株式会社	報国エンジニアリング 南九州 株式会社
エイチ・ジー・サービス 株式会社	ジオテック 株式会社	株式会社 トラバース	株式会社 オートセット	千代田ソイルテック 株式会社

※本資料に記載する技術情報は製品の代表的な特性や性能を説明しているもので、

G ジオテック株式会社

〒161-0033 東京都新宿区下落合 2-3-18 SKビル
TEL 03-5988-0711 FAX 03-5988-0721
URL <http://www.jiban.co.jp/>

埼玉営業所 TEL 048-844-6488 FAX 048-844-6489
京葉営業所 TEL 03-5669-8940 FAX 03-5669-8941

戸建住宅の基礎地盤補強研究会

[事務局] 株式会社 設計室ソイル

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目9番12号 第6中央ビル7F TEL 03-

2006.10.2000.N.

住宅の基礎地盤を補強する

RES-P工法

レスピー工法

R e i n f o r c e d E a r t h w i t h S t e e l P i p e

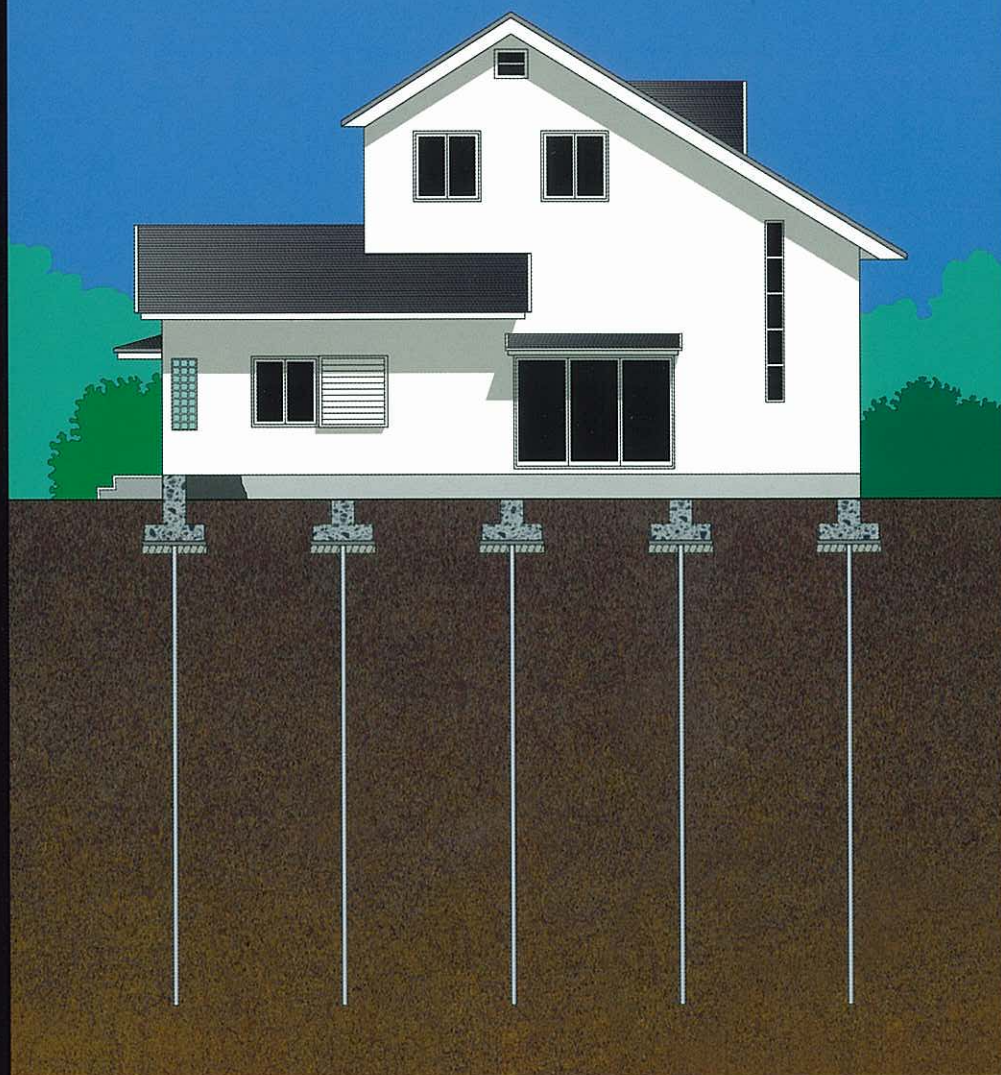
RES-P

戸建住宅の基礎地盤補強研究会

弱い地盤を強くして 住まいの安心を守る。

Reinforced Earth with Steel Pipe RES-P工法 レスピー工法

RES-P工法はパイルド・ラフト基礎工法
の一種です。弱い地盤中にパイプ（細径
鋼管）を貫入して、地盤とパイプの複合作
用で地盤を強くして沈下を防ぐ、住宅の
基礎地盤補強工法です。

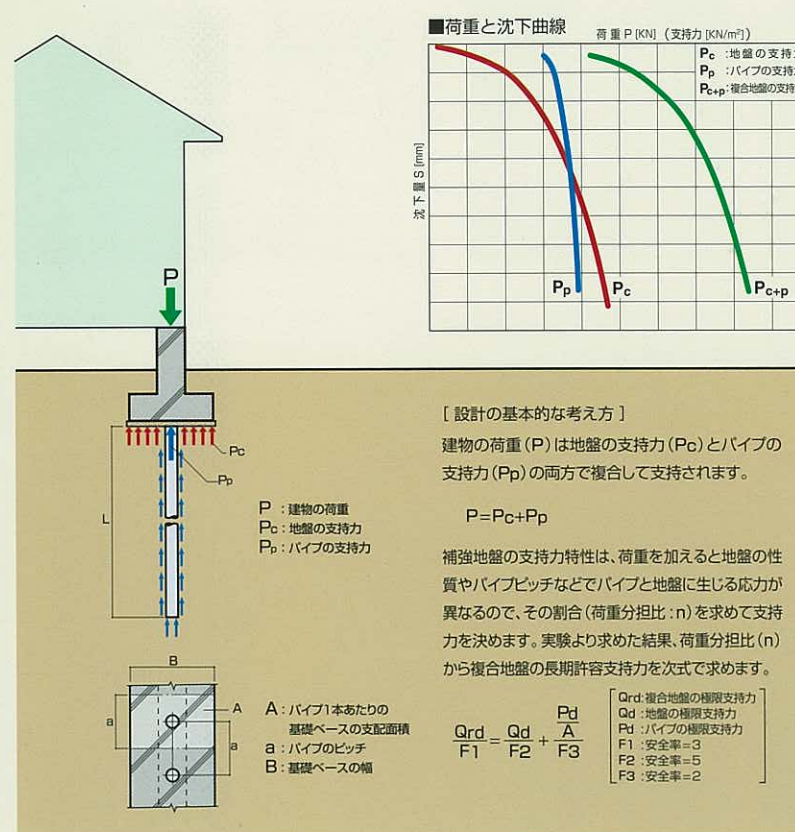


■RES-P工法を施した住宅の基礎模型

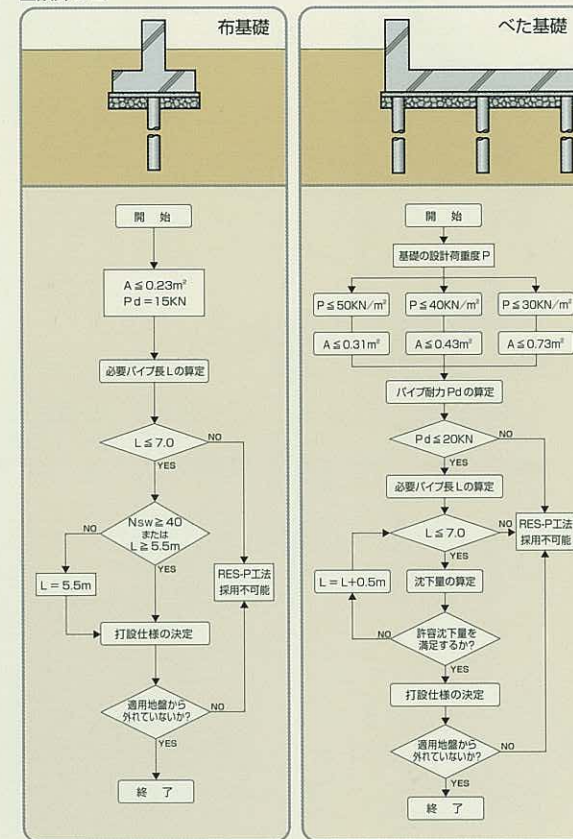
- 1 地盤の耐力を強化します。
- 2 地盤の沈下を低減します。
- 3 低振動・低騒音で施工します。
- 4 狭い土地でも施工可能です。
- 5 残土処理が不要です。

設計

RES-P工法の設計とは建物の荷重を支えるために、地盤の状態に応じて、地盤に貫入するパイプの数と位置および貫入深さを決定することです。



設計フロー



施工

RES-P工法は専用機械を用いて施工します。設計に基づいた配置のとおり、パイプ（細径鋼管）を回転圧入で地盤に貫入します。施工時にはパイプの垂直性、貫入深さ、貫入抵抗を同時に記録します。パイプは直径48.6mm、肉厚2.4mmで垂鉛めっきを施した一般構造用炭素鋼です。

